

リハビリデイサービス なめがわ <https://www.kokoro.or.jp/rihabilityday/>

リハビリデイサービス なめがわ



〒355-0811

埼玉県比企郡滑川町大字羽尾 1041-7

TEL:0493-81-3505 / FAX:0493-81-3529



出会いと別れ



管理者 とさか ころ

この冬は、早々に初夏の陽気が来たかと思えば、一転雪が降ったり、大風が何日も続いたり、天候に大きく振り回された季節となりました。ようやく穏やかな気候になったかというところですが、今春は3年に一度の介護報酬改定があります。皆様にもご利用料金の変更等発生する場合がありますが、何卒ご理解の程よろしく願いいたします。

さて、日頃多くの方にご利用いただいておりますが、この春は多くのお別れをする春となりました。ただし、お別れと言っても喜ばしいお別れであり、いわゆる「卒業」です。今回はその方々をご紹介します。

1. Y・C 様 60代 (ご利用期間 : R5.12.4~R6.2.27)

清掃関係のお仕事をされていましたが、病気による著しい体力低下のため休職されておりました。動けるようになり始めた段階でリハデイのご利用を開始され、トレーニングに励まれました。特に太ももの筋力低下が目立ちましたが、若い分筋力の回復も早く、負荷も向上し、晴れて3月より職場復帰が叶いました。

2. K・H 様 70代 (ご利用期間 : R5.4.4~R6.2.27)

膝の痛みで退職し、人工膝関節の手術後、膝の動きを改善するために利用開始されました。当初は痛みと怖さで膝の曲りが小さく、放っておくと悪化する状態でした。痛みの出ないギリギリの設定でのトレーニングにより、徐々に動きが改善し、目標の一つであるハッピー体操の再開も叶いました。今回は要介護から要支援へ切替えの節目で卒業の意向が出て、今後は近場でできる範囲の仕事を探すそうです。

3. O・T 様 80代 (ご利用期間 : R5.1.13~R6.3.29)

当事業所の2階で毎週水曜日に開催している「おとなの学校」に通っていましたが、歩いて通うことが難しくなりました。また、坂道を上ると脚が痛くなるとのことで、利用開始されました。始めの内は筋肉痛も目立ちましたが、小さな負荷から徐々に上げていき、ある時点で坂を越えても痛みが出なくなりました。4月からはおとなの学校に再入学することとなり、リハデイはまさしく卒業となりました。併せて、おとなの学校と同じ部屋で行っている町の体操教室をご紹介します、運動機会としていただいております。



いずれの方も、自らの目標を持ち、自らの意志で卒業を決められました。ご利用という出会いは嬉しいですが、介護保険というある種の“非日常”から“日常”へ戻れることは素晴らしいことです。また、そのような関わりを持たせていただけたことに感謝致します。出会いあれば別れがあり、また次の出会いへと続いていきます。これからも多くの出会いと喜ばしいお別れに恵まれるようなサービス提供を心掛けて参ります。

【特集～eスポーツ～】

皆さんはeスポーツをご存じでしょうか？いわゆるテレビゲームで誰かと競い合うものの総称で、世界大会では賞金が数十億円のものもあるほど人気があり、いずれオリンピック競技になるとも言われています。近年、そんなeスポーツを介護予防にも取り入れていこうという動きが出てきています。気付き(注意力)や的確な判断(情報処理)、反射神経などを活用する、いわば現代版の脳トレで、これらは紙面の脳トレでは活用が難しいものです。

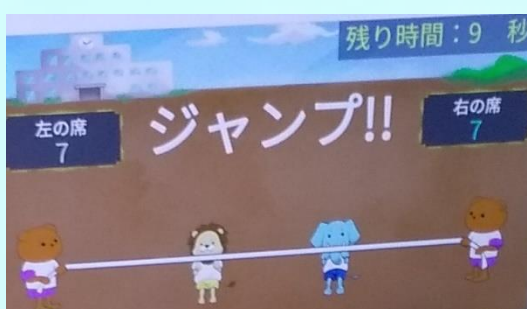
この度、リハデイでも4週間限定のお試しですが、eスポーツを導入しました。始めの内は、普段脳トレに熱心なリハデイ利用者様たちも、「私にできるかな?」「不器用だから無理だよ～」と非常に消極的でしたが、2,3回繰り返す内に慣れてくるため、最終的には多くの方に体験していただきました。



赤・青・黄・緑の4つのボタンを使って、様々なゲームを体験。難易度も調整でき、ステップアップできます。結果発表では勝敗と記録が出るので、終わった後は一喜一憂です。



【徒競走】ボタン連打でかけ足！ゴールまで走り抜けます！！



【大縄跳び】タイミングよくボタンを押してジャンプ！！



【もぐら叩き】4色のボタンから、飛び出たモグラの色を押していきます！

時代の流れとともに、今まで馴染みの無かったものが次々と出てきます。これは人生の中で誰もが経験する事ですが、便利な物であれば次第に使い慣れていくものです。最初の印象で毛嫌いせず、危ない事であれば一度試してみることで、いくつになっても新たな経験をさせていただければと思います。

編集後記



オンライン芸術文化祭 利用者部門賞頂きました！



1月号で特集した利用者様の押し花作品が、埼玉県のオンライン芸術文化祭で見事受賞しました！事業所活動としての受賞との事で、事務局の方とプレゼンターの北条ふとしさん(吉本興業所属のマツコ・デラックスさんのモノマネをされている方)にお越しいただき、代表してとさかが盾を頂きました。大変光栄であり、今後も制作活動に力を入れつつ、皆様の活動を応援していきたいと思えます！なお、当日はシルバー産業新聞社様も取材にられ、ご紹介していただけるとの事です。



編集担当：とさか